



令和4年度大阪府事業報告
～空の移動革命社会実装に向けた『大阪版ロードマップ』の着実な推進～

令和5年3月

大阪府 商工労働部 成長産業振興室

空飛ぶクルマ実現に向けた大阪の取組み

「空飛ぶクルマ都市型ビジネス創造都市」を掲げ、空飛ぶクルマに係るビジネスモデルを創造する都市としての発展をめざし、3段階での展開ステップを想定

「大阪版ロードマップ」策定のコンセプト

空飛ぶクルマ都市型ビジネス創造都市



新たなモビリティとして空飛ぶクルマが社会生活の利便性向上に深く関わり、エアモビリティを活用したビジネスモデルを創造する都市として発展

2025年頃
<立ち上げ期>

2030年頃
<拡大期>

2035年頃
<成熟期>

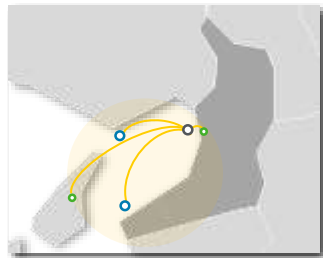
展開
ステップ

パイロット搭乗／定期路線運航
(空飛ぶタクシー・娯楽・観光)

自動・自律飛行（パイロットレス）／
オンデマンド運航へ段階的に移行

自律飛行・オンデマンド中心
機体の大型化・多様化・量産化

運航エリアの
拡大イメージ



万博会場を中心に
商用運航を開始



都市部中心を含む
商用運航が拡大



広範囲でネットワーク化された
商用運航を実現

ライフスタイルの
変化

万博を機に多くの人
が空飛ぶクルマを身近に体感

技術の進展により
日常的に使えるサービスに

空飛ぶクルマが
日常に溶け込むモビリティに

大阪の産業・経済
への影響

商用運航している姿を
世界に発信することで、
人材・企業・投資を呼び込む

機体メンテ、スマート離着陸場運営、
自動航空管制、自動・自律飛行制御など、
周辺の関連ビジネス、イノベーションが進展

多様な空飛ぶクルマの運航を
支える仕組みとして、
大阪の産業経済が発展

空飛ぶクルマ実現に向けた大阪の取組み

空の移動革命社会実装に向けた『大阪版ロードマップ』



空飛ぶクルマ実現に向けた令和4年度の大阪府の取組み

大阪府におけるアクションプランの推進＜環境整備＞

【1-1】 空飛ぶクルマ都市型ビジネス創造都市推進事業補助金 《令和4年度当初予算額：3,000万円》

- ▶ 事業者が実施する実証実験などの取組みに要する経費の一部（上限1,000万円、補助率1/2）を補助
- ▶ 補助採択：8事業

【2-1/3-1】 空飛ぶクルマ社会実装事業環境調査 《令和4年度当初予算額：2,000万円》

- ▶ 空飛ぶクルマ関連事業への企業の参入意欲、府民の期待値のさらなる向上につなげることを念頭に、離着陸場を始めとした、運航を支える環境整備及び府内における経済効果等の調査・検討を実施

1. 府内におけるユースケース・
運航事業モデルの調査・検討

2. 離着陸場の設置候補地及び
整備プロセス・課題の調査・検討

3. 空飛ぶクルマに関するビジネスエコ
システム・経済波及効果の調査・検討

【4-1】 空飛ぶクルマ社会受容性向上事業 《令和4年度当初予算額：1,000万円》

- ▶ 空飛ぶクルマの社会実装に欠くことのできない、社会受容性の向上に向けた取組みを実施
 - (ア) 絵画コンクール（募集期間：令和4年10月中旬～令和5年1月中旬）※シンポジウムにて表彰
 - (イ) シンポジウム（令和5年2月頃開催予定）
 - (ウ) 各種イベントと連携したPR

【4-1, 4-2】 「空飛ぶクルマのある社会像」を発信するコンテンツ制作 《9月補正予算（案）：6,500万円》

- ▶ 大阪を舞台にした「将来の空飛ぶクルマのある社会像」をリアルに体験・理解できる効果的なメディアコンテンツを作成し、2023年度以降広く活用
 - (ア) 空飛ぶクルマでの飛行をリアル体験できるVRコンテンツを制作（代表的なユースケースを5種類）
 - (イ) 空飛ぶクルマがある未来社会のコンセプトムービーを制作

1 空飛ぶクルマ社会実装事業環境調査 (委託事業)

2 空飛ぶクルマ社会受容性向上事業 (委託事業)

3 空飛ぶクルマ都市型ビジネス創造都市推進事業補助金

1 空飛ぶクルマ社会実装事業環境調査 (委託事業)

2 空飛ぶクルマ社会受容性向上事業 (委託事業)

3 空飛ぶクルマ都市型ビジネス創造都市推進事業補助金

空飛ぶクルマ社会実装事業環境調査概要



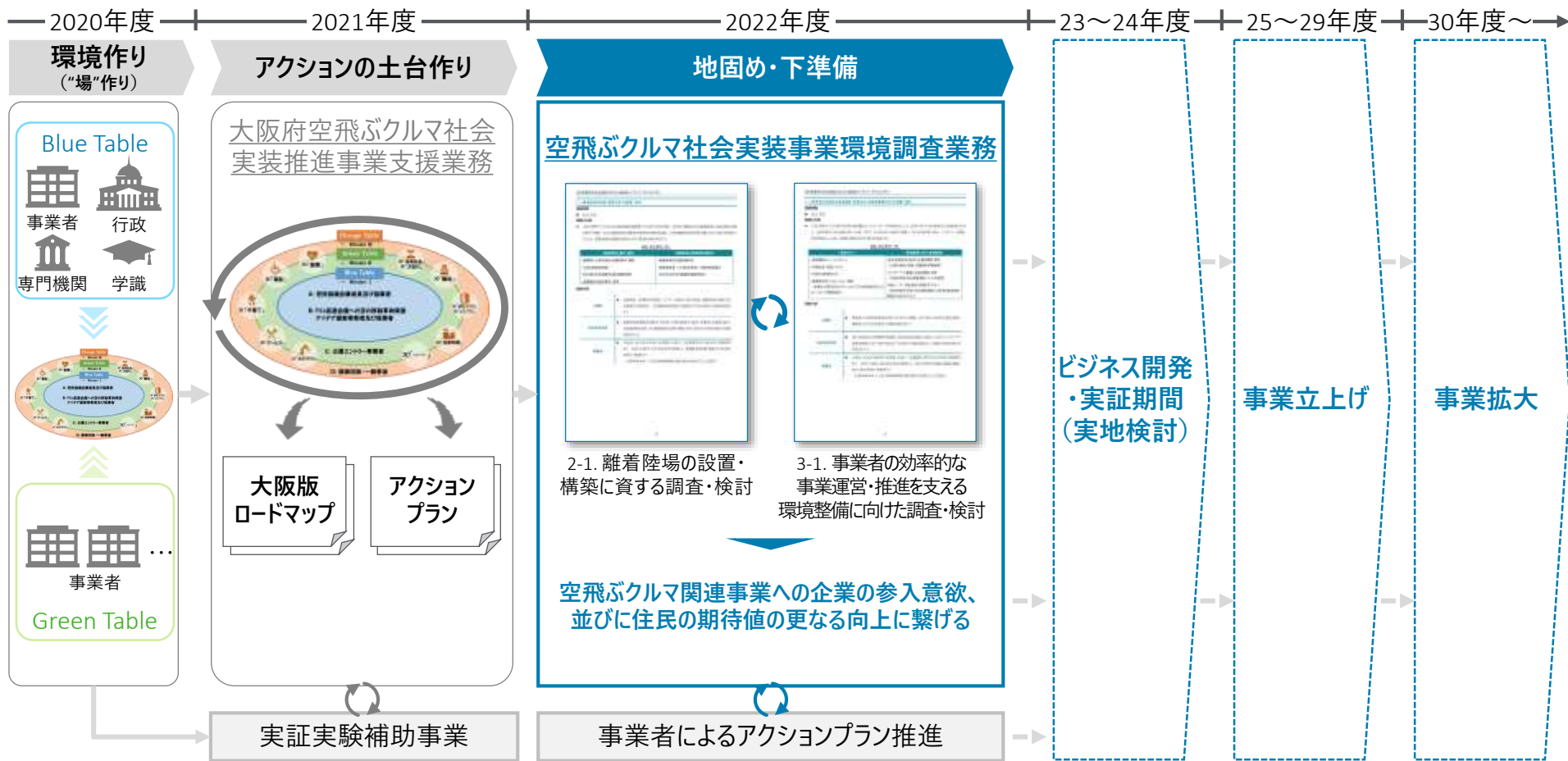
- 1. 本事業の位置づけ・事業全体像（振り返り）**
- 2. 調査・検討結果の共有**

▶▶ 1. 本事業の位置づけ・事業全体像（振り返り）

2. 調査・検討結果の共有

本事業では、昨年度の成果（大阪版ロードマップ／アクションプラン）に基づき、以降の大阪でのビジネス開発・実証を加速させる（地固め・下準備）ための調査・検討を実施

大阪府の取り組みにおける本事業の位置づけ

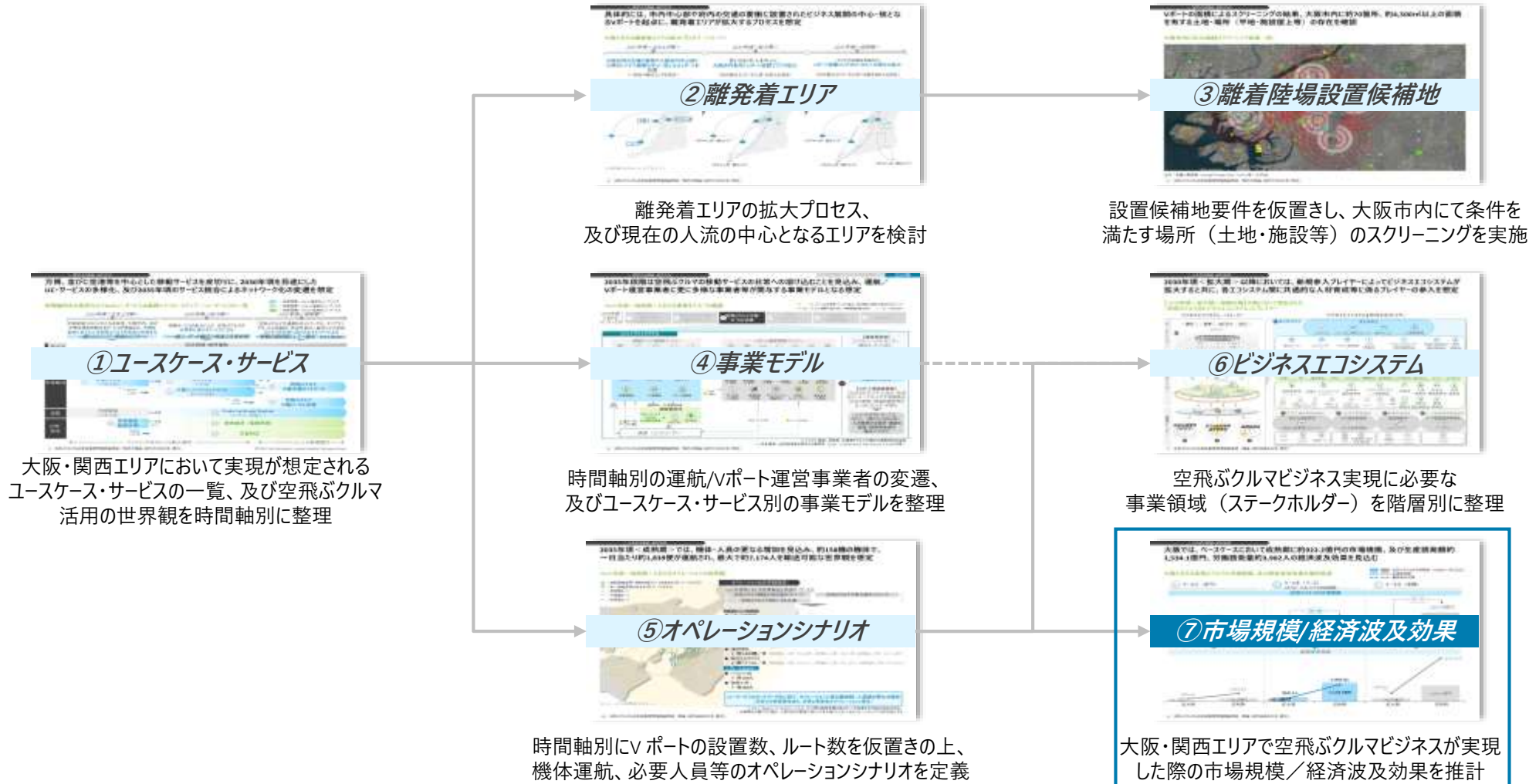


関連事業への企業の参入意欲、並びに住民の期待値の更なる向上に繋げることを念頭に、大阪版ロードマップ／アクションプラン「2-1. 離着陸場の設置・構築に資する調査・検討」、及び「3-1. 事業者の効率的な事業運営・推進を支える環境整備に向けた調査・検討」に係る調査・検討を実施

出所：各種公開情報（大阪府HP「空の移動革命社会実装大阪ラウンドテーブル」等）より作成

ユースケース・サービスの整理結果に基づき、離着陸場の設置・構築に資する調査・検討、及び事業者の効率的な事業運営・推進を支える環境整備に向けた調査・検討を実施

本事業の調査・検討結果の全体像



本日のご共有事項

離着陸場の設置・構築に資する調査・検討に際しては、ユースケース・サービスに基づき、離発着エリアの検討、及び大阪市内における離着陸場設置候補地の調査を実施

本事業の調査・検討結果の振り返り（1/2）

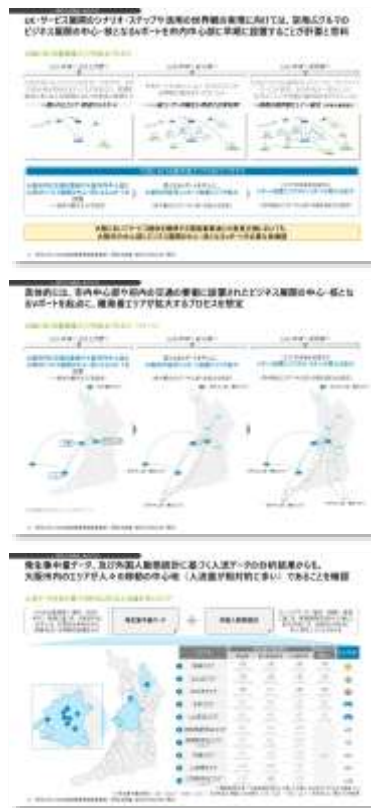
①ユースケース・サービス

大阪・関西エリアにおいて実現が想定されるユースケース・サービスの一覧、及び空飛ぶクルマ活用の世界観を時間軸別に整理



②離発着エリア

離発着エリアの拡大プロセス、及び現在の人流の中心となるエリアを検討



③離着陸場設置候補地

設置候補地要件を仮置きし、大阪市内にて条件を満たす場所（土地・施設等）のスクリーニングを実施



事業者の効率的な事業運営・推進を支える環境整備に向けた調査・検討に際しては、事業モデル、オペレーションシナリオに基づき、ビジネスエコシステムを整理

本事業の調査・検討結果の振り返り (2/2)

④事業モデル

時間軸別の**運航/Vポート運営事業者の変遷**、及び**ユースケース・サービス別の事業モデル**を整理



⑤オペレーションシナリオ

時間軸別にVポートの設置数、ルート数を仮置きの上、**機体運航、必要人員等のオペレーションシナリオ**を定義



⑥ビジネスエコシステム

空飛ぶクルマビジネス実現に必要な事業領域 (ステークホルダー) を階層別に整理



1. 本事業の位置づけ・事業全体像（振り返り）

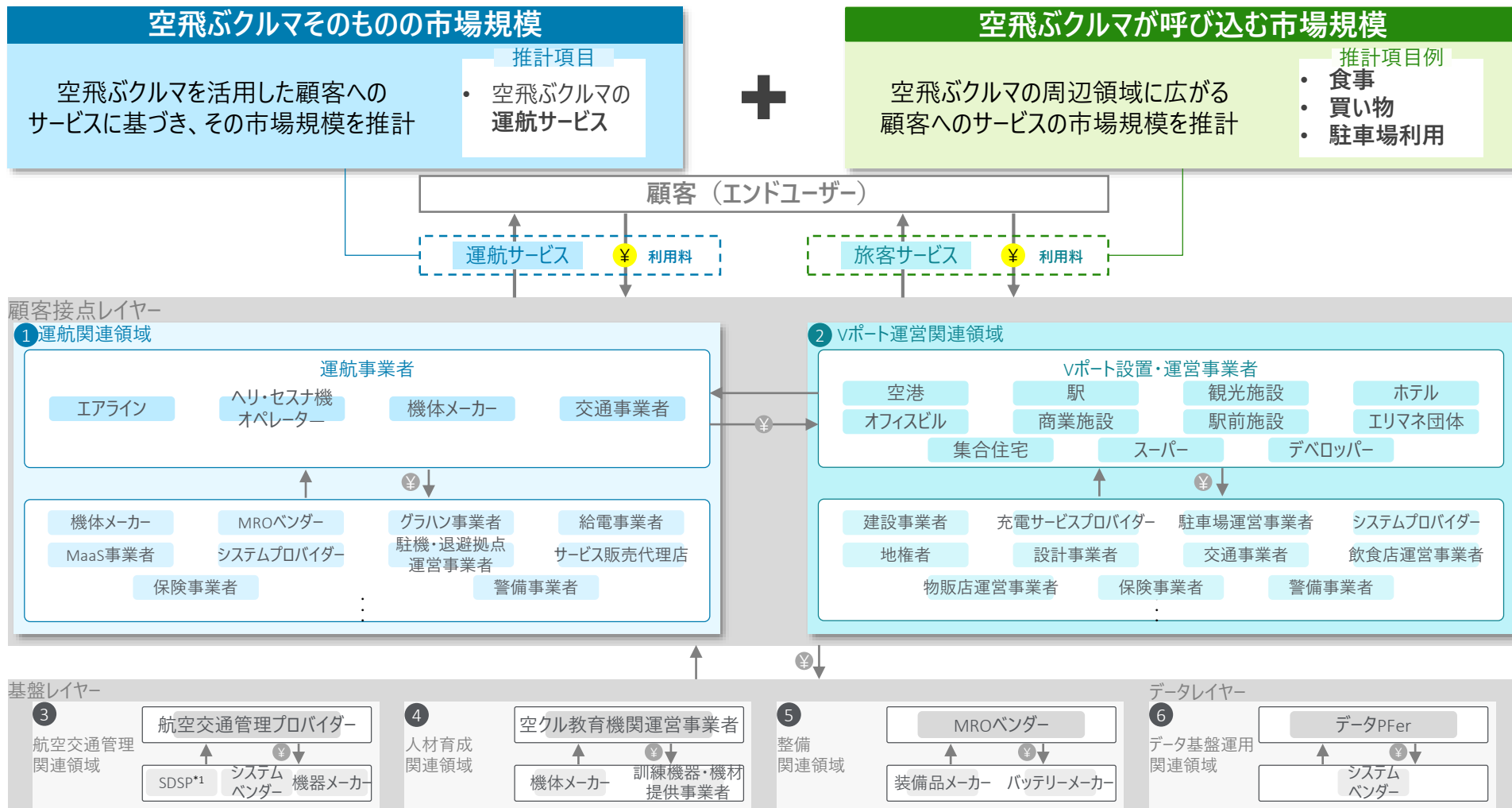
▶▶ 2. 調査・検討結果の共有

2. 調査・検討結果の共有

▶ 市場規模／経済波及効果の推計結果

大阪・関西エリアにおける空飛ぶクルマの市場規模は、顧客が支払う額（消費支出）に基づき、空飛ぶクルマそのものの市場規模と呼び込む市場規模を合算し推計

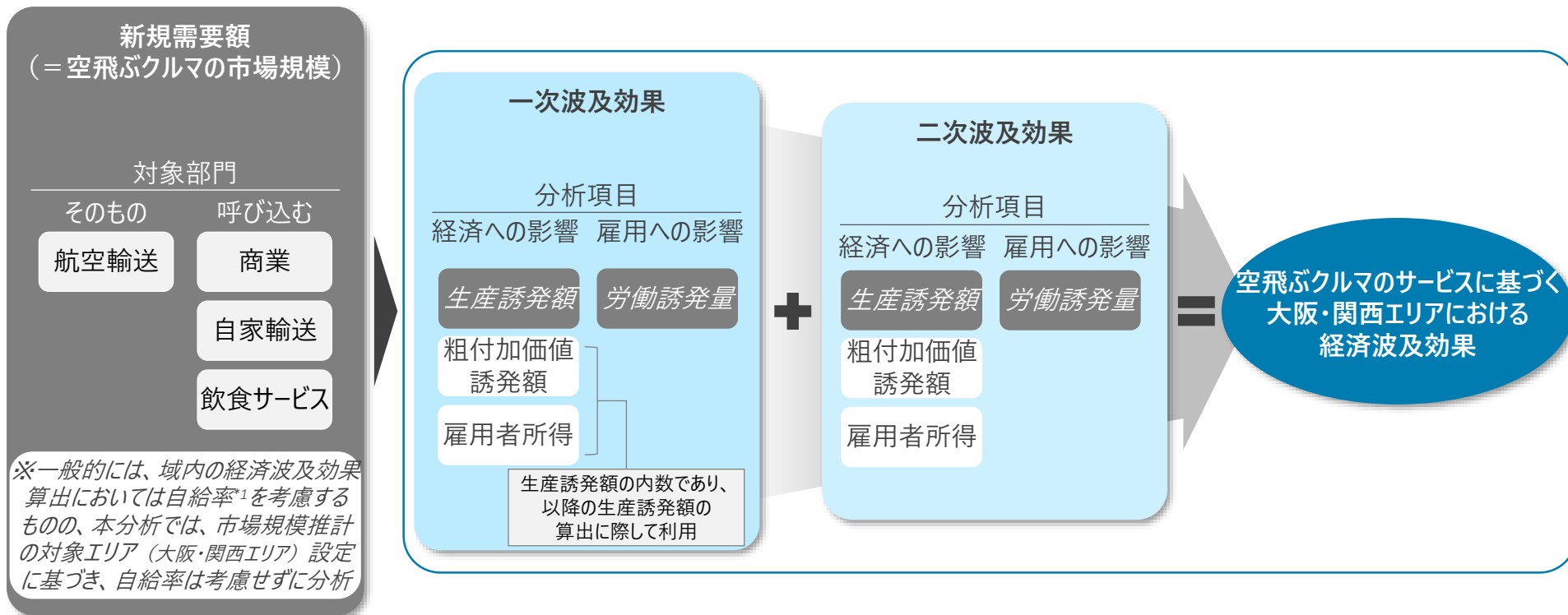
【空飛ぶクルマの市場規模／経済波及効果推計の前提（1/3）】
 大阪・関西エリアにおける空飛ぶクルマの市場規模推計の考え方



大阪・関西エリアにおける経済波及効果は、前段にて推計した空飛ぶクルマの市場規模を空飛ぶクルマの新規需要額とし、一次波及効果、及び二次波及効果を合算し推計

【空飛ぶクルマの市場規模／経済波及効果推計の前提（2/3）】

大阪・関西エリアにおける空飛ぶクルマの経済波及効果推計の考え方



■ サービス提供に係る原材料供給や販管費支払い等に伴う企業の生産活動

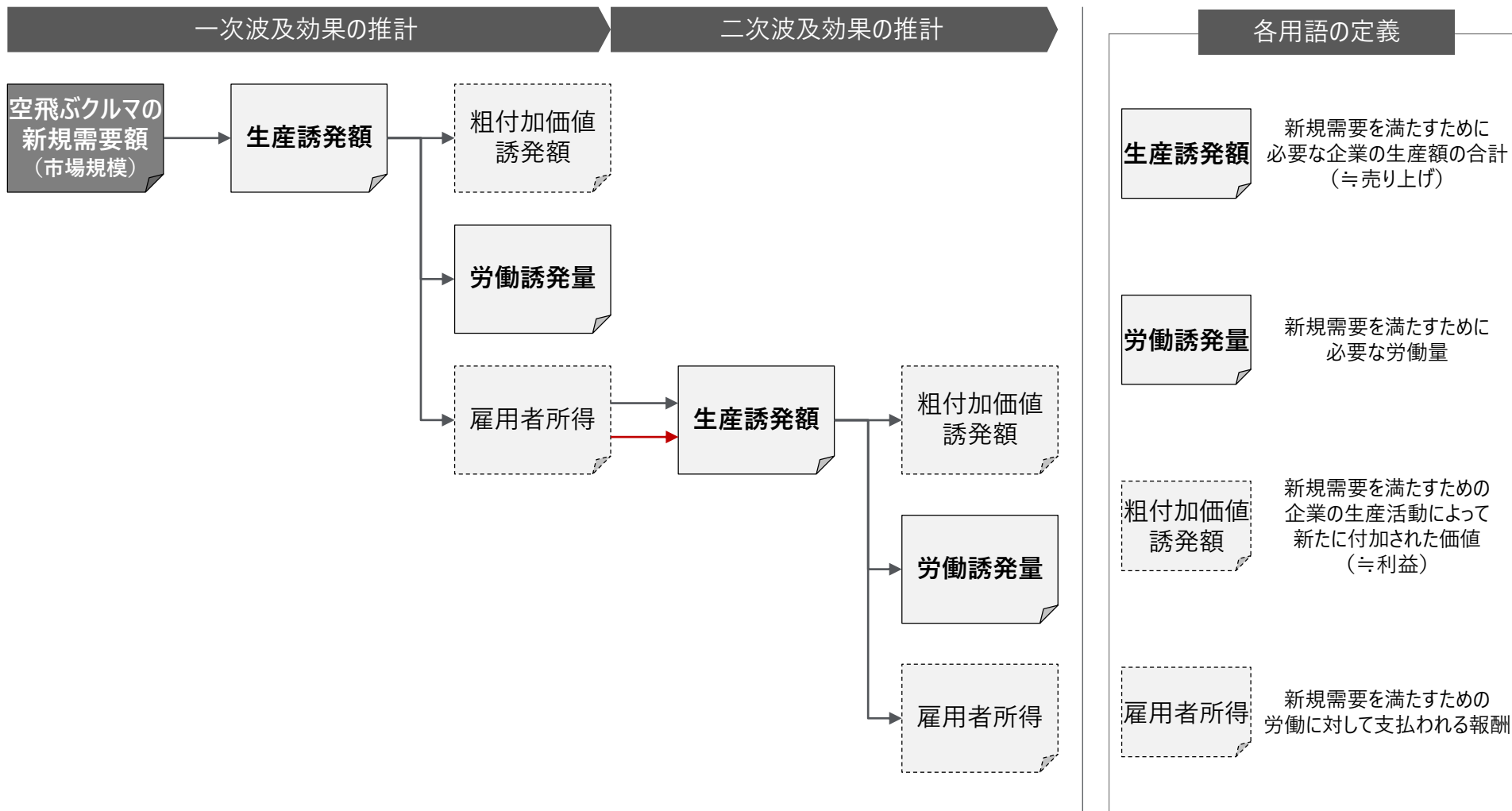
■ 雇用所得の増加に伴う消費需要の喚起

■ 一次波及効果と二次波及効果の合計値

*1: 新規需要額のうち、域内で消費される割合

【参考】前段にて推計した市場規模、及び大阪府の経済波及効果推計ツール（産業連関表）に基づき、大阪・関西エリアにおけるケース別・段階別の経済波及効果を分析

大阪・関西エリアにおける空飛ぶクルマの経済波及効果の分析フロー



*1: 平成27年（2015年）大阪府産業連関表の経済波及効果推計ツールを用いて算出

*2: 総務省「家計調査（2021）」1世帯当たり年平均1か月間の収入と支出（二人以上の世帯のうち勤労者世帯）より、平均消費性向 = 消費支出 ÷ 可処分所得として算出

【参考】空飛ぶクルマの新規需要額は、空飛ぶクルマそのものの市場規模、空飛ぶクルマが呼び込む市場規模を、それぞれ該当する産業連関表の部門分類に割り振ることで算出

新規需要額の定義・算出の考え方

大阪・関西エリアにおける空飛ぶクルマの市場規模の推計

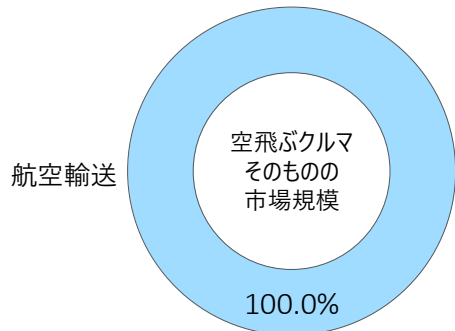
大阪・関西エリア（サービスの提供が行われる地理的な範囲）にて、空飛ぶクルマのサービスの一般府民への普及が見込まれる2030年頃以降を念頭に、潜在的な経済活動の規模（空飛ぶクルマの運航サービス及びその周辺領域において、顧客（エンドユーザー）が支払う額に基づく）を推計する
 = 空飛ぶクルマそのものの市場規模と空飛ぶクルマが呼び込む市場規模の合算値を空飛ぶクルマの市場規模として推計

新規需要額の設定

経済波及効果の分析（経済波及効果推計ツールの利用）に際して、新規需要額（前段の空飛ぶクルマの市場規模）を産業連関表に基づく部門分類に割り振る必要があることから、①空飛ぶクルマそのものの市場規模と②空飛ぶクルマが呼び込む市場規模を、既存の類似産業に基づいた分類を実施

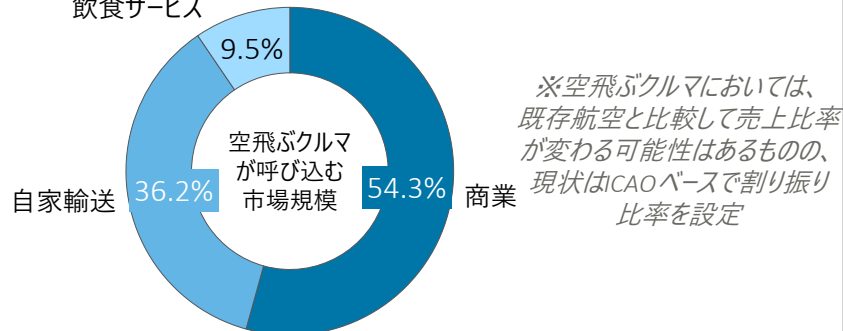
①空飛ぶクルマそのものの市場規模に係る 新規需要額の部門割り振り

- ✓ 空飛ぶクルマそのものの市場規模は、既存産業の内、航空輸送と類似した産業になり得ると想定されるため、全量（100%）を航空輸送と割り振り



②空飛ぶクルマが呼び込む市場規模に係る 新規需要額の部門割り振り

- ✓ 空飛ぶクルマが呼び込む市場規模も同様に、空港の非航空系収入に係る産業と想定される商業、自家輸送、及び飲食サービスに割り振り



出所:各種公開情報（ICAO「Airport Economics」等）より作成

*1:平成23年（2011年）産業連関表の部門分類・コード表を基に分類
 *2:ICAO「Airport Economics」より、非航空系収入のうち、物販、駐車場、飲食サービス収入の合計を100%とした際の割合

市場規模/経済波及効果は、設置されるVポートの種類（府内／府外、VPクラス／VSクラス）及びルート数に基づいて、保守・ベース・楽観の3ケースに分類

【空飛ぶクルマの市場規模／経済波及効果推計の前提（3/3）】 ケース分類の定義

- : 府内に設置されたVPクラスのVポート
- : 府内に設置されたVSクラスのVポート
- : 府外に設置されたVPクラスのVポート
- : 府外に設置されたVSクラスのVポート

オペレーションシナリオの数値

ケース概要		ケース①（保守）	ケース②（ベース）	ケース③（楽観）
		<p>府内外にVPクラス*1のVポートが設置されるが、ルート数は限定的 (成熟期においても自律飛行を見込まない)</p> <p>設置ルート I 府内VP⇄府内VP II 府内VP⇄府外VP</p>	<p>府内にVP*1・VSクラスのVポート、府外にVPクラスのVポートが設置されルート数が増加 (成熟期において、新たに就航する機体の自律飛行を見込む)</p> <p>設置ルート I 府内VP⇄府内VP II 府内VP⇄府外VP III 府内VP⇄府内VS</p>	<p>府内外にVP*1・VSクラスのVポートが設置され、ルート数が大幅に増加 (成熟期において、就航する機体の全数の自律飛行を見込む)</p> <p>設置ルート I 府内VP⇄府内VP II 府内VP⇄府外VP III 府内VP⇄府内VS IV 府内VS⇄府外VP V 府内VP⇄府外VS</p>
拡大期	Vポート数*2	8か所	10か所	15か所
	ルート数*2	18ルート	24ルート	49ルート
成熟期	Vポート数*2	14か所	20か所	30か所
	ルート数*2	46ルート	70ルート	170ルート

*1: 米国におけるVポートの3分類の内、Vertihub相当の機能を有するVポートも含むものとする

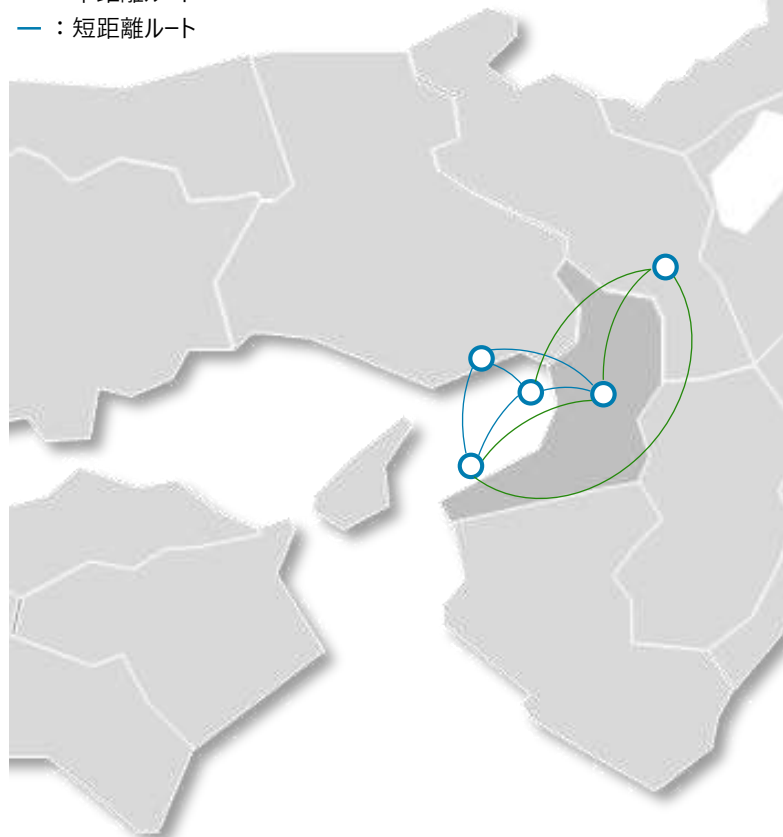
*2: ケース別のVポート設置数、ルート数は仮定値

2025年頃<立ち上げ期>では、限られた機体・人員でオペレーションが開始され、約14機の機体で、1日当たり約169便が運航され、最大で約510人を輸送可能な世界観を想定

2025年頃<立ち上げ期>におけるオペレーションの世界観

(※市場規模推計の対象外)

- ：複数離着陸帯・複数駐機スペースを有するVポート（VPクラス）
- ：単一離着陸帯を有するVポート（VSクラス）
- ：長距離ルート
- ：中距離ルート
- ：短距離ルート



※ルート・Vポート設置場所はイメージ

オペレーションの世界観概要

2025年段階における旅客輸送に係るUC・サービス

空港特急シャトル

万博シャトル

前提

- Vポート設置数
 - 5か所（VPクラス：5か所）
- ルート数
 - 9ルート（中距離ルート：4ルート、短距離ルート：5ルート）

機体運航

- 機体数
 - 約14機（大型機：約4機、小型機：約10機）
- 運航便数
 - 約169便／日（中距離ルート便：約59便、短距離ルート便：約110便）
- 輸送キャパシティ
 - 約510人／日（中距離ルート便：約235人、短距離ルート便：約275人）

人員（有資格者）

- パイロット数
 - 約41人
- 整備士数
 - 約33人

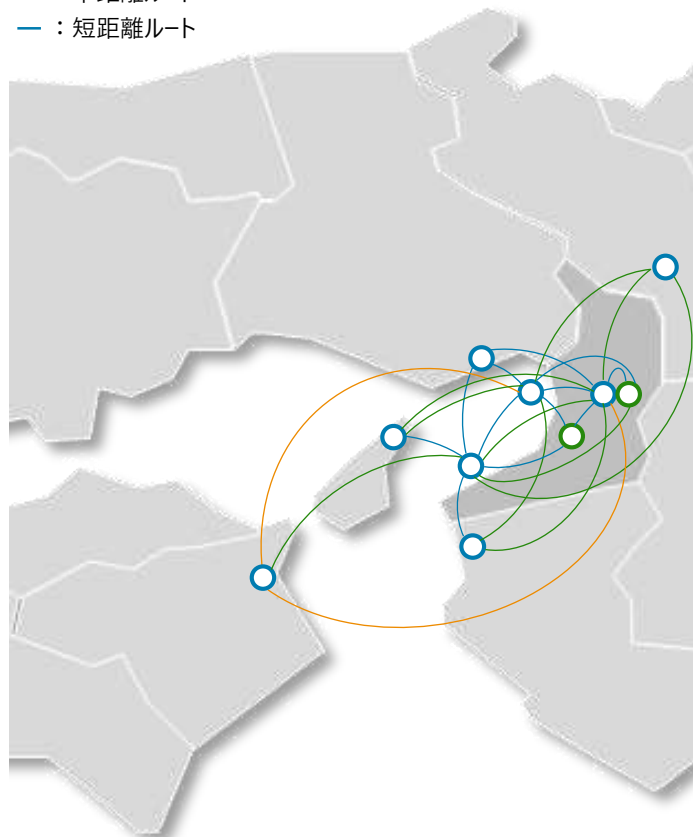
限られた機体数・人員数からオペレーションを開始
(空飛ぶクルマのオペレーションに最低限必要な(コア)事業者によるオペレーションが中心)

2030年頃＜拡大期＞では、機体・人員が増加し、約36機の機体で、一日当たり約470便が運航され、最大で約1,419人を輸送可能な世界観を想定

市場規模推計の対象

2030年頃＜拡大期＞におけるオペレーションの世界観

- ：複数離着陸帯・複数駐機スペースを有するVポート（VPクラス）
- ：単一離着陸帯を有するVポート（VSクラス）
- ：長距離ルート
- ：中距離ルート
- ：短距離ルート



※ルート・Vポート設置場所はイメージ

オペレーションの世界観概要

2030年段階における旅客輸送に係るUC・サービス

関西インターシティライナー

空港特急シャトル

IRシャトル

大阪イントラシティシャトル

前提

- Vポート設置数
 - 10か所（VPクラス：8か所、VSクラス：2か所）
- ルート数
 - 24ルート（長距離ルート：2ルート、中距離ルート：10ルート、短距離ルート：12ルート）

機体運航

- 機体数
 - 約36機（大型機：約27機、小型機：約9機）
- 運航便数
 - 約470便／日（長距離ルート便：約14便、中距離ルート便：約147便、短距離ルート便：約309便）
- 輸送キャパシティ
 - 約1,419人／日（長距離ルート便：約58人、中距離ルート便：約590人、短距離ルート便：約771人）

人員（有資格者）

- パイロット数
 - 約108人
- 整備士数
 - 約89人

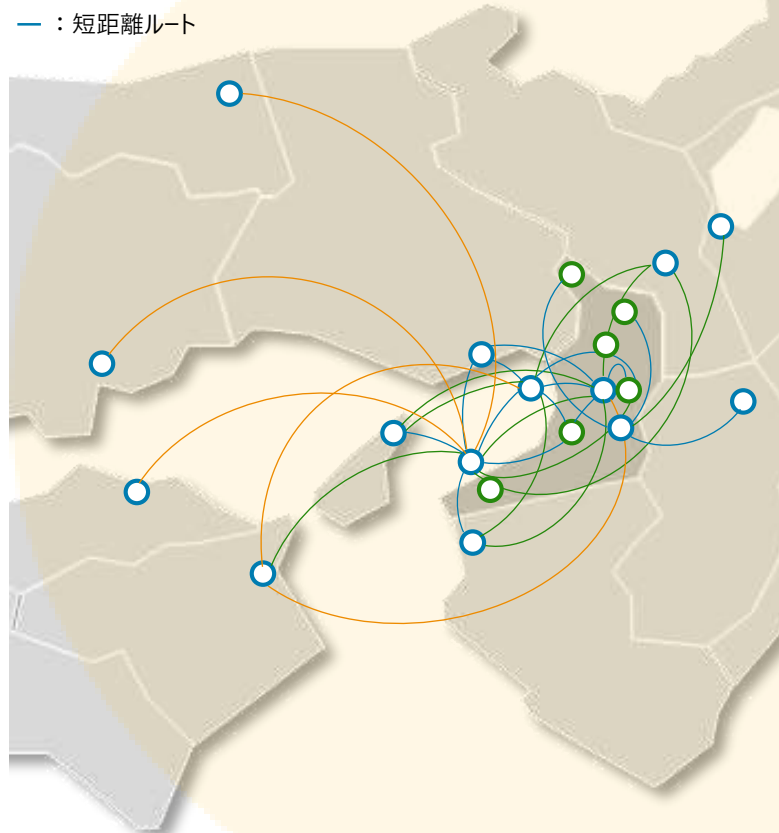
UC・サービスの多様化に伴い、機体数・人員数等含めオペレーションが拡大
（オペレーションに関する事業者・事業領域等が拡大）

2035年頃＜成熟期＞では、機体・人員の更なる増加を見込み、約158機の機体で、一日当たり約1,839便が運航され、最大で約7,174人を輸送可能な世界観を想定

市場規模推計の対象

2035年頃＜成熟期＞におけるオペレーションの世界観

- ：複数離着陸帯・複数駐機スペースを有するVポート（VPクラス）
- ：単一離着陸帯を有するVポート（VSクラス）
- ：長距離ルート
- ：中距離ルート
- ：短距離ルート



※ルート・Vポート設置場所はイメージ

オペレーションの世界観概要

2035年段階における旅客輸送に係るUC・サービス

空飛ぶクルマ関西広域交通ネットワーク

空飛ぶクルマ大阪交通ネットワーク

空飛ぶクルマ大阪ローカル交通

前提

- Vポート設置数
 - 20か所（VPクラス：14か所、VSクラス：6か所）
- ルート数
 - 70ルート（長距離ルート：15ルート、中距離ルート：26ルート、短距離ルート：29ルート）

機体運航

- 機体数
 - 約158機（大型機：約125機、小型機：約33機）
- 運航便数
 - 約1,839便／日（長距離ルート便：約148便、中距離ルート便：約577便、短距離ルート便：約1,114便）
- 輸送キャパシティ
 - 約7,174人／日（長距離ルート便：約710人、中距離ルート便：約2,784人、短距離ルート便：約3,680人）

人員（有資格者）

- パイロット数
 - 約108人
- 整備士数
 - 約388人

UC・サービスのネットワーク化に伴う、オペレーションに係る機体数・人員数の更なる増加
（派生する事業領域含め、多様な事業者がオペレーションに関与）

*1:RAM（Region Air Mobility）として、九州等の超長距離を結ぶルートが発展する可能性はあるものの、本事業の位置づけに鑑み、大阪府及び関西広域エリアを対象としたルートをオペレーションシナリオの対象とする

【参考】前提・機体運航・人員に係る各項目に諸条件を付した上で、オペレーションシナリオを整理

時間軸別オペレーションシナリオの検討に係る諸条件の整理

項目		条件設定					
前提	Vポート	<ul style="list-style-type: none"> VPクラス*1・VSクラス*2の複数種類のVポートが設置されている想定 <table border="1"> <tr> <td>VPクラス</td> <td>VSクラス</td> </tr> <tr> <td>✓ 離着陸帯：2か所 ✓ 駐機スペース：6か所</td> <td>✓ 離着陸帯：1か所 ✓ 駐機スペース：1か所</td> </tr> </table>	VPクラス	VSクラス	✓ 離着陸帯：2か所 ✓ 駐機スペース：6か所	✓ 離着陸帯：1か所 ✓ 駐機スペース：1か所	
	VPクラス	VSクラス					
✓ 離着陸帯：2か所 ✓ 駐機スペース：6か所	✓ 離着陸帯：1か所 ✓ 駐機スペース：1か所						
ルート	<ul style="list-style-type: none"> 長距離・中距離・短距離ルートの3種類がある想定 <table border="1"> <tr> <td>長距離ルート</td> <td>中距離ルート</td> <td>短距離ルート</td> </tr> <tr> <td>✓ 移動距離：100km～160km</td> <td>✓ 移動距離：35km～100km</td> <td>✓ 移動距離：～35km</td> </tr> </table>	長距離ルート	中距離ルート	短距離ルート	✓ 移動距離：100km～160km	✓ 移動距離：35km～100km	✓ 移動距離：～35km
長距離ルート	中距離ルート	短距離ルート					
✓ 移動距離：100km～160km	✓ 移動距離：35km～100km	✓ 移動距離：～35km					
機体運航	使用機体	<ul style="list-style-type: none"> 大型機・小型機が投入されており、ルートに応じて活用されると想定 <table border="1"> <tr> <td>大型機</td> <td>小型機</td> </tr> <tr> <td>✓ 定員：4人 ✓ 航続距離：160km</td> <td>✓ 定員：1人 ✓ 航続距離：35km</td> </tr> </table>	大型機	小型機	✓ 定員：4人 ✓ 航続距離：160km	✓ 定員：1人 ✓ 航続距離：35km	
	大型機	小型機					
✓ 定員：4人 ✓ 航続距離：160km	✓ 定員：1人 ✓ 航続距離：35km						
運用時間	<ul style="list-style-type: none"> 7:00～19:00（12時間）で運用されると想定 						
人員 (有資格者)	パイロット	<ul style="list-style-type: none"> 一日当たり6時間搭乗し、月間20日勤務（10日休暇）の勤務形態を想定 					
	整備士	<ul style="list-style-type: none"> 一機当たり2.5人の整備士が担当する想定 					

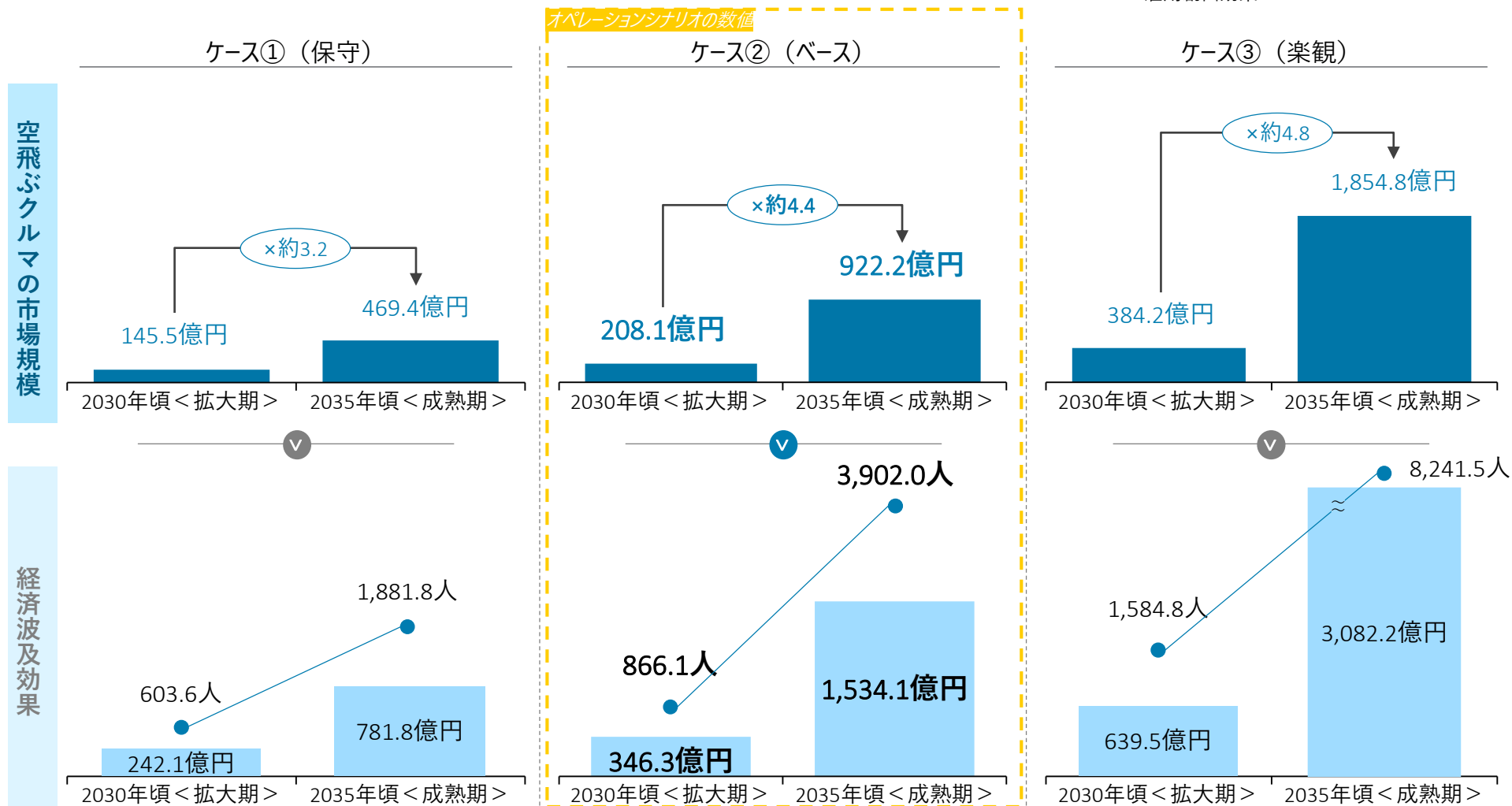
*1: 米国におけるVポートの3分類の内、Vertiportと類似した機能を有するVポートを想定

*2: 米国におけるVポートの3分類の内、Vertistopと類似した機能を有するVポートを想定

大阪・関西エリアでは、ベースケースにおいて成熟期に約922.2億円の市場規模、及び生産誘発額約1,534.1億円、労働誘発量約3,902人の経済波及効果を見込む

大阪・関西エリアにおける空飛ぶクルマの市場規模／経済波及効果の推計結果

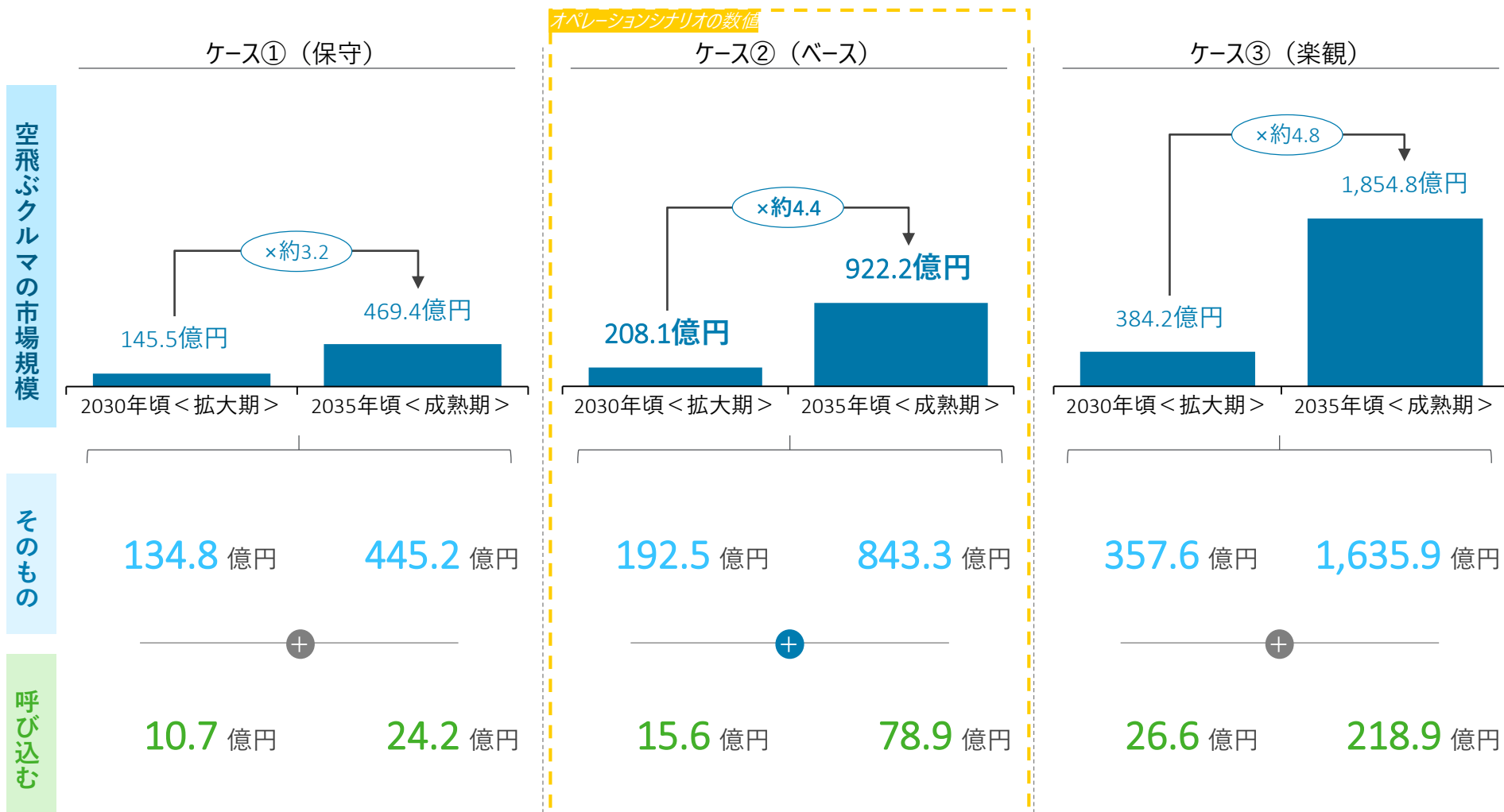
- ：空飛ぶクルマの市場規模（そのもの+呼び込む）
- ：生産誘発額
- ：雇用創出効果



【参考】ベースケースにおける空飛ぶクルマの市場規模の内訳として、 成熟期において約843.3億円（そのもの）、及び約78.9億円（呼び込む）を見込む

大阪・関西エリアにおける空飛ぶクルマの市場規模の推計結果詳細

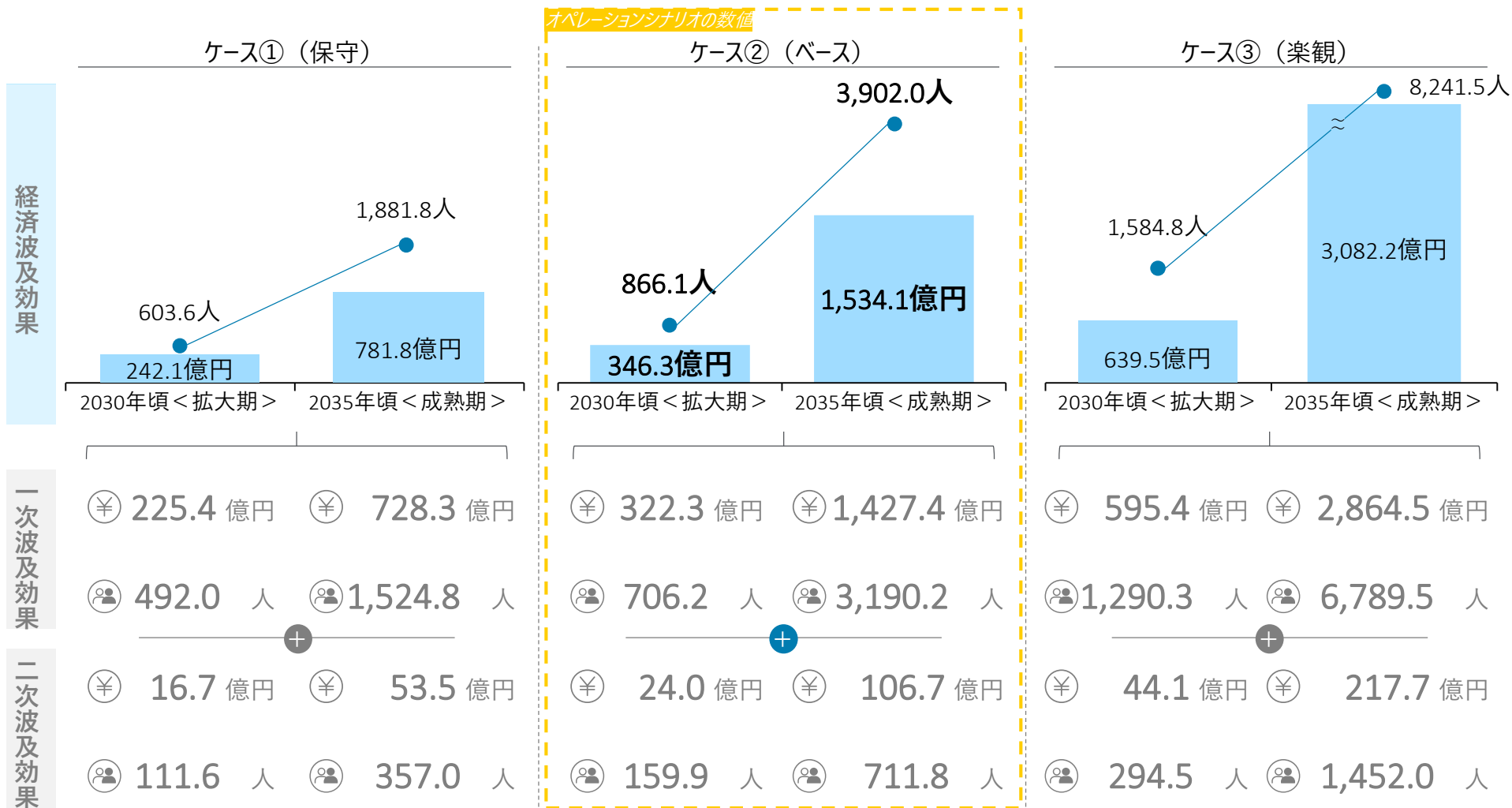
■：空飛ぶクルマの市場規模（そのもの+呼び込む）



【参考】ベースケースにおける経済波及効果の内訳として、成熟期において約1,427.4億円（一次波及効果）、及び約106.7億円（二次波及効果）を見込む

大阪・関西エリアにおける空飛ぶクルマの経済波及効果の推計結果詳細

■：生産誘発額
●：雇用創出効果



1 空飛ぶクルマ社会実装事業環境調査 (委託事業)

2 空飛ぶクルマ社会受容性向上事業 (委託事業)

3 空飛ぶクルマ都市型ビジネス創造都市推進事業補助金

空飛ぶクルマ実現に向けた令和4年度の大阪府の取組み

空飛ぶクルマ絵画コンクール



主催：大阪府
後援：大阪府教育委員会
協力：兵庫県／大阪市
事務局：空飛ぶクルマ絵画コンクール事務局
(産経新聞社大阪メディア営業局)

作品募集期間：10月14日(金)～1月18日(水)

「空飛ぶクルマ絵画コンクール」実施概要

テーマ **空飛ぶクルマのある未来**



大阪・関西を空から
もっと自由に。もっと便利に。

大阪府では、2025年大阪・関西万博での「空飛ぶクルマ」の実現に向け、府民をはじめ多くの皆さんに「空飛ぶクルマ」のある社会を理解してもらうための活動を行っています。本コンクールでは、こんなことができる、あんなことができる「空飛ぶクルマのある未来」をテーマにした絵画作品を募集。

「空飛ぶクルマ」の可能性を、皆さんの自由な発想で描き出してください。

応募総数：766点
【内訳】小学生の部 704点
中学生の部 17点
高校生の部 16点
一般の部 29点

空飛ぶクルマ実現に向けた令和4年度の大阪府の取組み

空飛ぶクルマ絵画コンクール受賞作品

《小学生以下の部》

大阪府知事賞 9歳 上村貴乎さん



手足を収納して行動を走れ、
沢山の人を運べるウミガメ型空飛ぶクルマ

優秀賞

- 5歳 川邊滉己さん
- 10歳 杉本ひなりさん
- 10歳 三橋巧実さん

入選

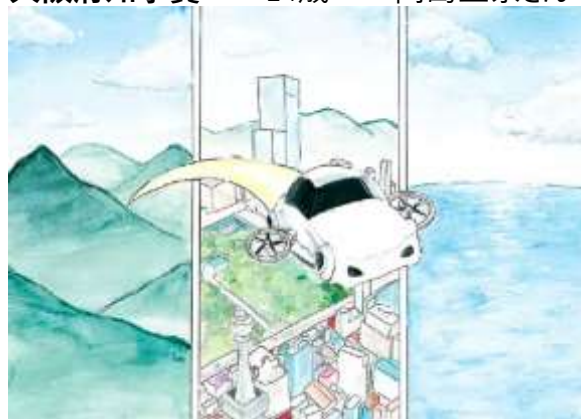
- 10歳 梶村茉花さん
- 9歳 岡愛莉沙さん
- 7歳 千田 孟さん
- 5歳 林 柊亜さん
- 7歳 伊神拳一郎さん

受賞作品紹介HP



《中学生の部》

大阪府知事賞 14歳 岡島里奈さん



空飛ぶ車の旅

優秀賞

- 13歳 五郎丸心彩さん
- 14歳 高橋法子さん
- 13歳 澤田和佳さん

入選

- 13歳 中森勘太さん
- 13歳 田口夏衣さん
- 14歳 堺満璃奈さん

《高校生の部》

大阪府知事賞 16歳 田淵寧皇さん



W・グリーン

優秀賞

- 15歳 橋本 朔さん
- 16歳 新田峻己さん

《一般の部》

大阪府知事賞 山本利佐子さん



空の上でも
お買い物

優秀賞

- 48歳 河津良勝さん
- 32歳 丹羽タミーレスさん
- 32歳 倉田晃成さん

入選

- 52歳 北芝ゆう子さん
- 41歳 松田佳織さん
- 49歳 福田宏樹さん
- 40歳 福嶋線久さん
- 82歳 河中寿男さん

空飛ぶクルマ実現に向けた令和4年度の大阪府の取組み

空の移動革命シンポジウム

2023年2月23日（木・祝）開催！

第1部 ビジネス向け セッション

空飛ぶクルマで大阪は儲かりまっか？ — 空飛ぶクルマが起こす大阪経済の活性化 —

時間 13:30~14:30

 <p>ファシリテーター 村山 繁 氏 (DroneTribune 代表兼編集長)</p>	 <p>パネリスト 大前 創希 氏 (DroneFund 共同創業者 代表パートナー)</p>	
 <p>パネリスト 中村 康平 氏 (空飛ぶ株式会社 専務・大阪府庁 航空宇宙部 第1課)</p>	 <p>パネリスト 吉川 祐一 氏 (丸紅株式会社 航空宇宙・防衛事業部 航空機三課長)</p>	 <p>パネリスト 太田 幸宏 氏 (住友商事株式会社 航空事業開発部)</p>

第2部 一般向け セッション

ほんまに暮らしが変わるの？空飛ぶクルマ

時間 14:45~16:05

 <p>ファシリテーター 結城 豊弘 氏 (テレビプロデューサー)</p>	 <p>パネリスト 薄田 ジュリア 氏 (フリーアナウンサー)</p>	 <p>パネリスト 須田 慎一郎 氏 (経済ジャーナリスト)</p>	
 <p>パネリスト 井上 久男 氏 (経済ジャーナリスト)</p>	 <p>パネリスト 村山 繁 氏 (DroneTribune代表兼編集長)</p>	 <p>パネリスト 川田 知泉 氏 (株式会社SkyDrive)</p>	 <p>パネリスト RaMu 氏 (タレント)</p>

定員：1部・2部共 400人 → 参加者数（実績）延べ約650人

詳しくは→



「空飛ぶクルマのある社会像」を発信するコンテンツ制作

空飛ぶクルマがある未来社会のコンセプトムービー試写

1 空飛ぶクルマ社会実装事業環境調査 (委託事業)

2 空飛ぶクルマ社会受容性向上事業 (委託事業)

3 空飛ぶクルマ都市型ビジネス創造都市推進事業補助金

空飛ぶクルマ都市型ビジネス創造都市推進事業補助金

- ◆ 大阪府では、大阪において空飛ぶクルマを活用したビジネス展開をめざしている民間事業者の取組みを支援
- ◆ 補助対象事業の公募を行った結果、申請のあった15件のうち、**8件**の事業に対し補助金交付を決定

R3年度：申請7件(5件採択)  R4年度：申請15件(8件採択)

概要

【対象事業】 「大阪版ロードマップ」に基づき大阪府域で行う実証実験などの取組み
 【補助額】 1件あたり上限1,000万円 【補助率】 1 / 2 以内

選定事業一覧

事業区分	採択事業名	応募代表事業者
実証実験	① エアモビリティ統合運航管理プラットフォーム事業	三井物産(株)
	② 大阪周辺における空飛ぶクルマの最適な飛行経路と必要な装備品の検証	エアバス・ヘリコプターズ・ジャパン(株)
調査・検討	③ 無人機管制システムによる大阪版空飛ぶクルマ運航シミュレーション	住友商事(株)
	④ 大阪市内中心部における空飛ぶクルマの離着陸場利活用に向けた可能性調査 2.0	オリックス(株)
	⑤ 大阪府内における離着陸場候補地の設置検討調査	兼松(株)
社会受容性向上に向けた取組み	⑥ 大阪における空飛ぶクルマ社会実装に向けた実証実験 <small>～大阪府民と共に空飛ぶクルマの世界を実現へ～</small>	丸紅(株)
	⑦ 大阪府内における空飛ぶクルマのある未来像啓発(社会受容性醸成)	(株)SkyDrive
	⑧ 「空飛ぶクルマ出前授業」及び「フルサイズ機体モデル展示・試乗会」の開催	Volocopter GmbH



空の移動革命社会実装大阪ラウンドテーブル [HPはコチラ→](#)

